

ダーツ

ダーツの起源は、500年以上も昔のイギリスといわれています。1455年、バラ戦争（30年戦争）の戦場の兵士たちが、空になった葡萄酒の樽を「的」にし、武器の矢を短く切ったものを投げて遊んだのがルーツとされています。

その後、大木を厚めに切断したものを的にするようになり、天然の年輪に採点方法とテクニクの楽しさを発見しました。

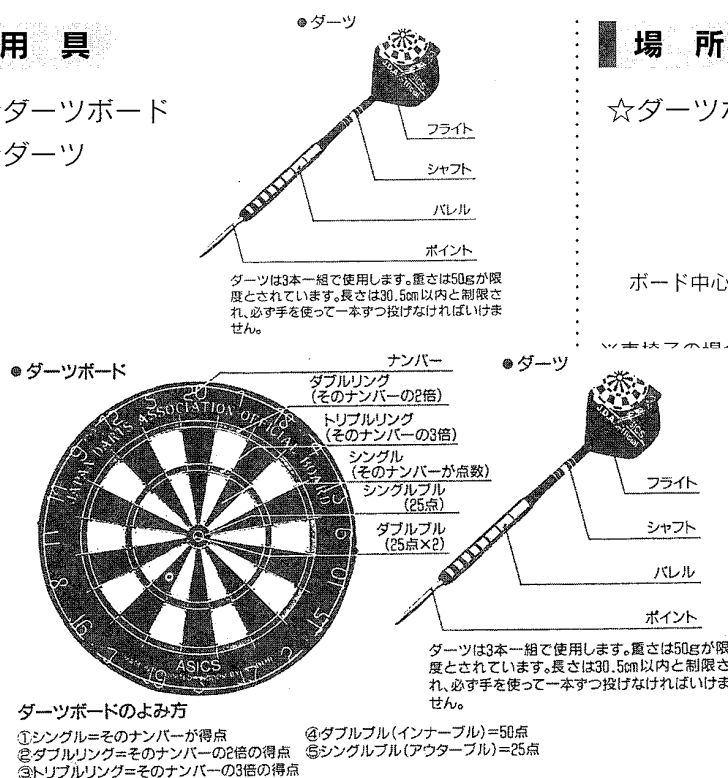
このボードが使い込まれていくうちに、自然乾燥し、表面に何本もの放射線状の亀裂が入って採点は一層複雑になっていき、現在のダーツボードのデザインの原形ができました。

そして、1896年、イングランドのブライアン・ガムリンによって、ボードに番号をつける方法が考案され、競技ルールも確立されました。

用具

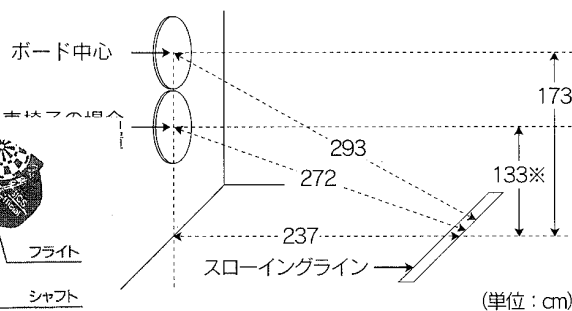
☆ダーツボード

☆ダーツ



場所 (コート)

☆ダーツボードの設置方法

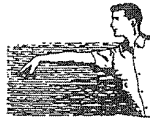


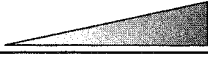
ルール (進め方)

【ダーツの投げ方】

☆ダーツが目の高さにくるように構え、肘から先と手首だけで軽く投げる。

☆足の位置は、両手を軽く開いて立つ。両足の爪先をダーツボードに向けて立つ正面型スタンスと、片足の側面をボードに向けて横に立つ側面型スタンスがある。

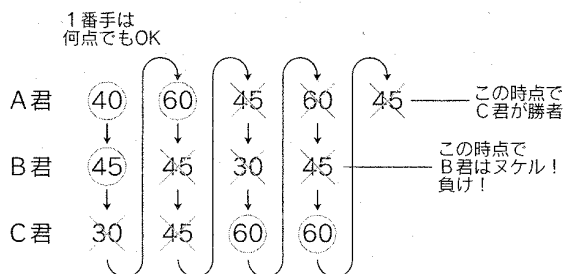


	
運動量	★
技 能	★★★★
準 備	★★★

【楽しむゲーム】 〈アンダー・ザ・ハット〉

2人から何人でも楽しめる。(1人の持ち点3ポイント) 何人で行っても競う相手は前の人。前に人より高い点を出せば勝ち。(各自の持ちポイントは3点)

- ① ミドルフォーティドルで順番を決める。
- ② まず先攻の人が3本投げて合計点をスコア表に記入する。(1番手は何点でもOK)
- ③ 次の人は、前に人の得点よりも高い得点を出せばよい。
- ④ 前の人より低い点、または同点を出した場合は、自分のポイントが1点なくなる。
- ⑤ ポイント3点がなくなれば抜ける。最後まで残った人が勝ち。



【スタンダードゲーム】 〈501 (ファイブ・オー・ワン)〉

- ① コイントス、またはジャンケンで先後攻を決める。
- ② ミドル・フォー・ティドル (各自1本ずつ中心を狙って投げて、ブルに近い方が勝ち) で本番の先攻、後攻を決定する。
- ③ 501点の持ち点を、各自交互に1回に3投ずつ投げて減点し、相手より早く0点にすれば勝ち。
- ④ 最後のダーツは、必ずダブルに入れて0点にしなければならない。(ダブルフィニッシュ)

〈501スコアの書き方〉

A選手			B選手		
Scored	To Go	Darts	Scored	To Go	
501	501		501	501	
80	421	3	10	491	
100	321	6	31	460	
105	216	9	180	280	
85	131	12	2	272	
81	50	15	27	245	
18	32	18	22	223	
2	30	21	25	198	
16	16	24	23	175	
	16	27	60	115	
	7	30	41	27	
		33			
		36			
		39			
		42			
		45			
		48			
		51			
		54			
		57			
		60			
		Center			
Darts:	27		Darts:		

残り点数を減く欄

3本の合計点数を書く欄

NICE TON!! 100点スコアはトン(TON)といわれています。

BUST!! バストマークは「B」

NO SCORE!! ノースコアダブルBを狙ったが全てリングの外だった

GAME SHOT!! 1本目はリングの外、2本目でダブルに入りゲームショット。従ってA選手は29ダーツで勝ち、③2本目に入ったから②と書く

NICE DARTS 3本の矢が20のTに入ったダーツの最高点

HIGH OFF!! 3本でフィニッシュできる最高点。20T・20TダブルフルでフィニッシュできるがA選手がその前のスローでダブルを決めたのでB選手はトライできずに負け